



令和3年2月16日（火）
幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

0・1・2歳児 すくすくだより

2月2日、豆まきをしました。年長児扮するかわいい鬼に新聞紙を丸めた豆を投げて、「鬼はそと～」と威勢のいい子ども達・・・小さいながらも季節の行事に触れています。「節分」という言葉通り、季節を分ける時期・・・春はもうすぐそこまでやっています。暖かい日には、小さな花のつぼみや鳥のさえずりなど小さい春を見つけに散歩へ出かけたいです。

2歳児の方へお知らせ

年度末にさしかかり、進級を迎えようとしています。園での様子、発育発達、3歳以上児の生活についてなど心配や相談がある方は担任までお知らせください。



ひよこぐみ（1歳児）

寒い日の一日。部屋の中で新聞遊びをしました。たくさんの新聞を段ボールで仕切って中に入れると、「わあ！お風呂だー！」「一緒に入ろう～♪」とお風呂に見立てて遊び始めました。「あったかいね～」と友達と顔を見合わせたり、お互いの体にお湯をかけるように、新聞紙をかけ合ったりします。段ボールの仕切りから出る時には「さむいさむい！」と体をさすりながら、急いで部屋にある布を持ってきて拭き始めました。その様子はまるで温泉にきているような雰囲気に見えました。



他にも、体を拭いた布をロープにひっかけて、洗濯ばさみで挟み、洗濯干しをはじめた子もいました。子どもたちは普段の生活の中で、見たもの聞いたもの体験したものをイメージして、いろんなものに見立てて遊びます。見立て遊びは、言葉の発達を促したり、想像力を伸ばしたりします。この時期に欠かせない遊びです。

ひよこぐみ担任 安田祥歌 は一身上の都合で1月末に退職しました。

あひるぐみ（2歳児）

自分の気持ちや行動などを言葉で伝えることができるようになってきました。友達と遊んでいるときも、昨日の出来事や家族の好きな食べ物などを話すことも耳にします。



小麦粉粘土を使ってパン作りをしました。食べることはできませんが、自分で作ったパンを使ってパン屋さんごっこをします。自分たちで作ったパンを店先に並べて、「いらっしゃいませー」「どのパンにしますか？」「ありがとうございました」の店員ならではの挨拶は当たり前。「100円になります。おつりありますよ」とお金のやりとりをします。中には「こちらでおめしあがりですか？」と持ち帰りか店内で食べるかを確認すると、袋詰めにしたパンとトレイにのせたパンとを使い分けてお客さん役の子に渡す、本物の店員さんのようなやりとりをする子も。

店員役は人気ですが、パンを売り終えると自然に役を交代し、どの子もいろんな役に挑戦しています。

よくある日常の一場面ですが、子どもたちはよく観察していて、遊びの中で再現しています。



りすぐみ（0歳児）

寒い日が続きますが、体をたくさん動かして遊べるよう、室内で新聞遊びをしています。自分の体の何倍もある大きな新聞をダイナミックに破ったりまた指先を使って細かく引き裂いたりいろんな方法で新聞を破ります。また子どもたちは音にとっても敏感で新聞が破れる時の「ビリビリ」紙と紙がこすれ合う「カシャカシャ」などさまざまな音を楽しんでいます。



そんなある日、いつものように新聞遊びをしていると一人の子が「しろいかみ」という絵本を持ってきました。見てみると、同じ新聞遊びの様子が絵本に載っています。「同じだね」と教えたかったのでしょうか。子どもの「気づき」に驚かされました。